

主な内容

- 求人公害に悩む高校.....1頁
- 中小企業白書.....2頁
- 宇都宮市の景況調査.....2頁
- 主婦パートと税金.....3頁
- 経営者がすぐやること.....3頁

# 商工うつのみや

発行所  
宇都宮商工会議所  
宇都宮市旭町1-3, 427  
〒320 電話33-6231(4)  
編集兼 金子浩蔵  
発行人  
印刷所 三共印刷機  
電話67399  
毎月20日発行定価30円

## 新学卒者を確保しよう



○中小企業にとって高卒者はノドから手が出る程欲しい。再三学校を訪問して依頼しても、人が足りないとの理由であつて、施してくれない。福利厚生施設、労務管理は、応接しているつもりである。学校職安は中小企業の内容をよく確認して、それらの会社にあつてほしい。(中小工場)

○学卒者は商店には殆どこない。生徒の職業選択はどうなつていゝのか。職業選択は自由である云うが、進路指導のアドバイスは

## 求人公害に悩む高校

### 高卒求人座談会

#### セールスポイントに工夫を

宇都宮雇用協会は、求人対策の一環として、明年三月高卒採用座談会を開いた。座談会には、宇都宮職安、商工会議所、宇都宮市をはじめ、宇都宮職安管内の高校進路指導主事十五名、事業所の労務担当者一〇名が参加し、真摯な意見の交換が行なわれた。

企業側の主な意見としては、

- 中小企業にとって高卒者はノドから手が出る程欲しい。再三学校を訪問して依頼しても、人が足りないとの理由であつて、施してくれない。福利厚生施設、労務管理は、応接しているつもりである。学校職安は中小企業の内容をよく確認して、それらの会社にあつてほしい。(中小工場)
- 学校訪問の場合、求人者としてセールスポイントが下手ではあるが、先生方が忙しいので要点的みを説明している。とにかく職場を見て欲しい。また、本年三月高卒者採用通知を出したが来なかつた者が二、三名あつた。卒業まで変化のないよう生徒を指導して欲しい。(自動車販売)
- 身体障害者を製造業に採用したところ普通の高卒者と全く変らなない。求人難の時代に身体障害者の能力を見直す必要がある。(中小工

## 団地視察と 受入れ懇談会

来春卒業予定の東北、関東中央地区の高校生に、少しでも多く宇都宮市内の事業所に就職してもらおうと宇都宮地区雇用協会(荒牧春三郎会長)では、各高校の進路指導先生、同担当地区の職業安定所職員約四十名を招き、四十九年高校卒業生見学会を開いた。

事業所見学会は市内の主要事業所をはじめ、平出工業団地の誘致工場や宇都宮商業卸地を見学したあと午後二時より新うつの八階で懇談会を行った。

懇談会には宇都宮市鶴見助役、宇都宮商工会議所坂本頭坂本市商工部長、宇都宮職安石井所長も出席受入れについて説明要請を行い、事業所側からも活発な意見質問等が出され充実した会合だった。

## 身障者にも理解を

○もたらした求人は県外、県内、管内、官庁関係に四分程度は絶対不足に提供し、進路指導主事は絶えずクラス担任と情報交換する。選択に当たっては生徒の自主性を尊重し、学校で会社を指導するようなことはない。(私立高等学校)

○学校を訪問する場合、昼休みや午後四時半以降は遠慮して欲しい。また東京の整備道では三年で三級整備士の資格取得の道が開けているが地元テラードでは八年もかかる。これは東京に就職してしまふものではない。(私立高等学校)

○特定した就職を取消すことは、それ相当の理由がある。この解決

## 共済掛金還元

### 支払は九月下旬

当会議所の災害保障特約共済制度の四十七年分(47.8から48.7まで)の取立計算を行つていますが、余剰還元は加入人口一月あたり一〇六四(二四・〇九%)となる予定で九月下旬の支払いを目標に準備を進めています。

過去二年間の交通共済当時は、四七%程度の還元率でありましたが今回は死亡された加入者二二人、負傷者二十三人で支払額は九〇〇万円を超過し、前年の二倍となつています。

また、通院見舞金制度は前年八月に創設したもので贈呈者二七八一、三万六千円となつています。

## 車が影響 大通りは減

### 交通量調査

宇都宮商工会議所は市商工部と協力、七月十二日の日曜日と同日二十四日火曜日の両日、市内の主要地点二十五カ所で朝九時から夜七時まで、歩行者の流動状況を調査した。その結果、歩行者は歩道を狭く、自動車騒音のひどい大通りを避け、オリオン通りに移りつつある傾向がみられた。

日曜日の通行量ベスト3は①オリオン通り江野町西が一九、六〇三人②大通り江野町西が一八、五二一人③オリオン通り一条町が一八、四三七人となつている。

オリオン通りの通行量が大幅にふえたのは、曲師町のアケビド完成で、上野・西武と東武デパート間が一本の線と結ばれたことも大きな原因とみられる。

一万、自動車の多い赤平通り、鉄砲町通りなどは日曜、平日とも昨年より二〇〜三〇%も歩行者が減つており、商店街の狭い道路にひしめく車を懸念している。

職業選択は生徒の自由であるが求人が一七〇〇社もあり過ぎて選択に困つている。生徒の第一希望で九割が推せんされる(工業学校)

○生徒一人に対して求人二〇社の割合で、求人の整理や求人者との応対で授業つぶされ教育が雑かになり、求人公害に悩んでいる。

企業者は数ヶ学校を訪問すれば人が取れると錯覚している。それよりも自分の社名を売り込むことにセールスポイントを考える必要がある。学校としては人間性の悪い会社には推せんしない。進路指導に当たっては職安のレテステスを実施して生徒を心理的にアプロアチさせ、能力、適性を考え、大企業、中小企業にこだわらず、能力を最大限に発揮出来る職場を推せんするようにしている。(商業学校)

以上のような意見が出されたが、求人者求職のバランスがとれず、今後人手不足に対応する体制を今から準備する必要がある。また、心身障害者、中高年者の雇用にも真正面から取り組むこと、高卒者の中、夜間大学を希望する者が増えている現状から夜間大学の誘致など、県外労働力も導入する手段として考える必要がある。(雇用情報専門官)

その他、経営のことならなんでも

宇都宮商工会議所  
**中小企業相談所**  
あなたのアシスタント  
お気軽に  
ご利用下さい

税金の納め方  
帳簿のつけ方  
生産のあげ方  
売上のふやし方  
お金のかり方  
(設備・運転資金等)

店舗の診断  
経営の診断  
就業規則  
労働保険  
人の使い方  
発明の相談



### 47年度中小企業白書 原材料高騰 打撃を懸念

#### 第一部 中小企業の動向

中小企業基本法に基づき、毎年報告される白書は今日第十冊目になる。さまざまな意味で大きな転換期を迎える日本経済の中で、62頁に及ぶこの白書は「発展への試練」をテーマに、中小企業10年の歩み、今後の中小企業のあるべき姿を明らかにしている。紙面の都合上、全文掲載は不可能なため、前後に分け、今号に於いては第一部、第二部の要約を、次回からは「中小企業に関する調査結果」を掲載しようとする中小企業施策を掲載したい。

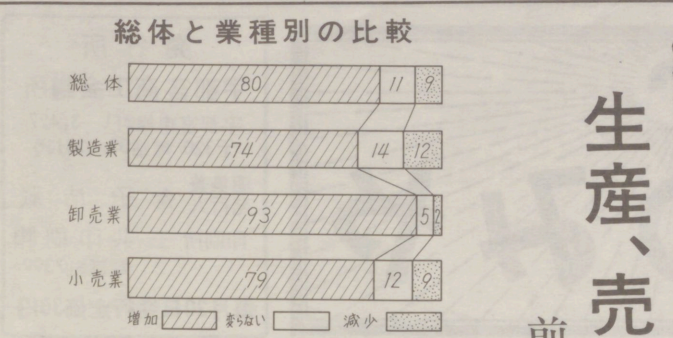
昭和47年度中小企業の動向は、概して「転機」を特徴としている。前年同様に、中小企業は、これまで以上に苦しい状況に置かれている。47年度の中小企業動向は、前年同様に、中小企業は、これまで以上に苦しい状況に置かれている。47年度の中小企業動向は、前年同様に、中小企業は、これまで以上に苦しい状況に置かれている。

#### 第二部 発展への試練

第一章 中小企業10年の歩み

(一) 中小企業10年の歩み

昭和35年度から44年度の10年間に、中小企業の事業所数は、農林水産業を除く工業部門では35万5千から46万2千に増加し、サービス部門では13万7千から16万2千に増加した。この10年間に、中小企業は、これまで以上に苦しい状況に置かれている。



## 生産、売上げは上昇

### 前期の景況動向調査

商工会議所は、四十八年前期(一・六月)の宇都宮市内企業の景況動向調査を実施してきた。その調査結果が実施されてきた。前期(一・六月)と本年(一・六月)とを比較して、売上増加した企業は74%、減少した企業は26%、変化の少ない企業は79%に上った。

製造業では、金属材料、機械器具、建築材料、衣料品が特に、景況の上昇を示している。卸売業、小売業は、前年同期(一・六月)と本年(一・六月)とを比較して、売上増加した企業は74%、減少した企業は26%、変化の少ない企業は79%に上った。

#### 売上げの増減企業の割合

業種別	本年度(48年1~6月)			前年同期(47.1~6)		
	増加	変わらない	減少	増加	変わらない	減少
製造業	74	14	12	47	23	30
卸売業	93	5	2	75	6	19
小売業	79	12	9	74	19	7

一、知的経営活動

中小企業は、この10年間に、知的経営活動の発展に力を入れている。その理由は、市場競争の激化、労働力の確保、技術革新の促進などによる。知的経営活動は、市場競争の激化、労働力の確保、技術革新の促進などによる。

## 知識集約化の展開

中小企業が今後最も重視する経営戦略として、「合理化・省力化」の取り組みが盛んに行われている。これは、市場競争の激化、労働力の確保、技術革新の促進などによる。知識集約化の展開は、市場競争の激化、労働力の確保、技術革新の促進などによる。

## 国民福祉と中小企業

第一、労働者福祉への対応策

中小企業は、人間味あふれる職場として評価されている。これは、労働者の福利厚生、安全衛生、労働環境の改善などによる。国民福祉と中小企業の関係は、労働者福祉への対応策、労働者の福利厚生、安全衛生、労働環境の改善などによる。

## パート収入に注意

### 年収42万以上は課税

人手不足を反映して、パートで働く主婦を求めている企業が少なくありません。主婦がパートで働く目的は、レジャー資金やマイホーム資金などさまざまですが、なかには社会とのふれあいを持つために働くという方もおられます。

主婦がパートで働く際には、収入が年間で42万円を超えると所得税が課税されることに注意が必要です。パート収入が年間で42万円を超えると、所得税が課税されることになる。

## 半数は主張通り

### 国税の不服審判

納税者の正当な権利利益を守るために、国税不服審判所が設置されています。この間、審判所は国税局や税務署との間で、多くの争いを解決してきました。

国税不服審判所は、納税者の権利を保護するために設置されています。近年、納税者と税務当局との間に発生する争いを解決するために、多くの案件が審判所に送られています。

## 商店経営者のなすべきこと

### 情報収集・分析・意志決定

商店経営者は、日々の経営活動において、正確な情報を収集し、それを分析し、適切な意思決定を行うことが重要です。これは、競争激化する市場環境の中で生き残るための鍵となります。

商店経営者の成功には、情報収集と分析が不可欠です。市場動向、競争相手の動向、顧客のニーズなどを継続的に収集し、分析することで、適切な経営戦略を立てることができるのです。



商店経営者のなすべきこと、情報収集・分析・意志決定。これは、日々の経営活動において、最も重要な要素の一つです。適切な意思決定を行うためには、正確な情報の収集と分析が不可欠です。

## 新入会員の紹介

- 足利 不動産部 代表者 田中 啓
- 大和田 工芸所 代表者 田中 啓
- アポロ 木工所 代表者 田中 啓
- 古田 建設 代表者 田中 啓
- 中鳥 縫製所 代表者 田中 啓
- 中島 縫製所 代表者 田中 啓
- 中島 縫製所 代表者 田中 啓
- 物産センター 代表者 田中 啓
- 松井 建設所 代表者 田中 啓
- 芳賀 建築建設所 代表者 田中 啓
- 橋本 商店 代表者 田中 啓
- 三ツ井 商店 代表者 田中 啓

お庭のコンサルタント 花と緑のある暮らし

創業百余年

# 農芸百貨

## 粕谷商店

本店 大町154粕谷ビル第一銀行前 電話(0286) 33-3494代  
支店 ガーデンショップ粕谷戸祭園立病院前 電話22-5384  
農場 造園センター粕谷、河内町田原白鷺カントリークラブ入口 南2750

大きく大きく  
大きくなる  
大きくなる

ワシヨウ  
年6,496円税込

ワシヨウ  
年6,496円税込

商工中金  
宇都宮支店  
電話(33)8191代

あられせんべい

代表製品 登録商標都千鳥味代

# マルウ製菓株式会社

宇都宮市中河原町1023番地 電話(33) 3417代  
工場 築瀬町198 電話(33) 7201代

卸部 河原町1127番地 電話34-2377(代)

有限会社 **小保方魚店**

小売部 一条町1156番地 電話33-9049



